

かさま 社協だより

No.12



編集・発行 2010.7.31

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原 3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/

何ができるかな
男の料理講座



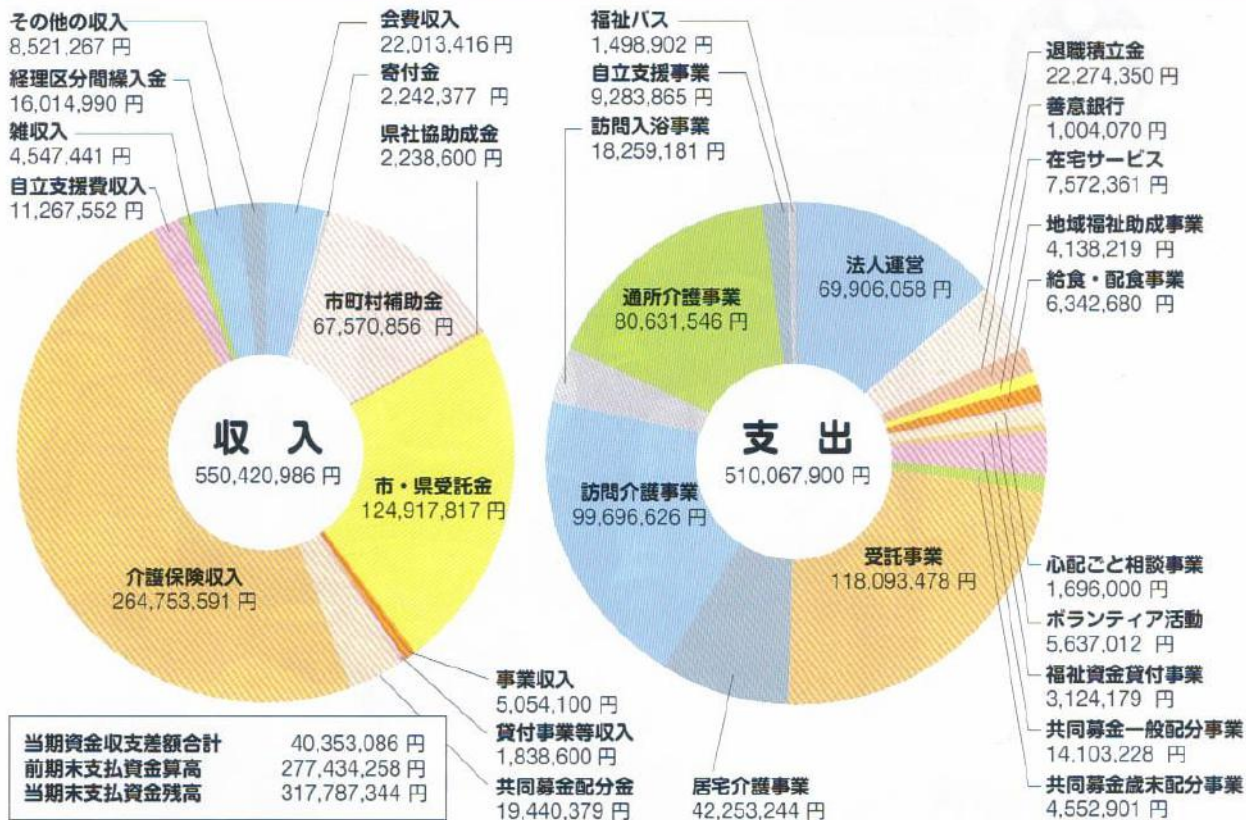
元気にあいさつをかわしながら・・・
北川根支部「あさひ子供を守る会」

も く じ

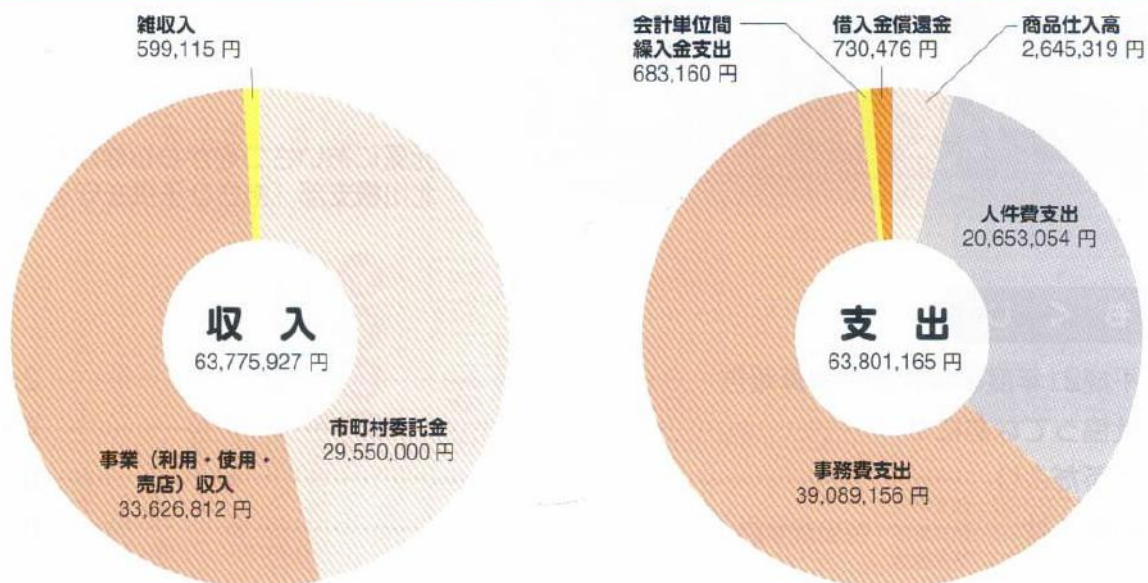
① 平成21年度事業報告・決算報告	2～3
② 社協ってなあに？	4～5
③ 支所だより	6～7
④ お知らせ	8

および決算報告

一般会計資金収支決算



いこいの家「はなさか」特別会計資金収支決算



平成21年度

社協事業報告

法人運営事業

- ・ 理事会、評議員会、監事会、正副会長会議の開催
- ・ 部会・委員会の開催
- ・ 組織検討特別委員会の開催
- ・ 地域福祉活動計画の策定
- ・ 支部・地区社協を理解するための学習会（笠間・岩間地区）
- ・ 会員会費、共同募金の募集
- ・ かさま社協だよりの発行（9号・10号・11号）
- ・ 各種団体への事業助成
- ・ 低所得者福祉（小口貸付・生活福祉資金）
- ・ 心配ごと相談所の運営（相談件数 211 件）
- ・ 心配ごと相談所合同研修会
- ・ 法律相談所の運営（相談件数 92 件）

ボランティアセンター事業

- ・ 運営会議、代表者会議の開催
- ・ ボランティアリーダー研修会の実施
- ・ ボランティアセンターだよりの発行
- ・ 児童・生徒の福祉講座の開催
- ・ 高校生たちの福祉体験学習会
ワークキャンプ 32 人参加
- ・ 夏休みわくわく体験教室
小学生・保護者 延べ 576 人参加
- ・ 住民対象の福祉講座の開催
13 講座、延べ 293 人参加
- ・ ボランティアサークルの育成
82 サークル 1,367 人が活動
- ・ 福祉バス運営
利用団体数 56 団体 利用人数 2,111 人

児童・生徒のボランティア活動普及事業の推進

- ・ 市教育委員会・家庭教育学級との連携
- ・ 先生方の福祉研修会の実施
- ・ 福祉事業協力校への事業助成
市内幼稚園、保育所、小・中・高校 42 か所
- ・ 学校依頼による福祉体験学習に指導・協力 11 校
延べ 1,221 人参加 ボランティア協力 158 人

善意銀行運営

- ・ 預託金 2,242,377 円 112 件
- ・ 物品預託 87 件
- ・ 福祉機器等の貸出しサービス
車いす、福祉車両、点字版、着ぐるみ、行事用
テント、鉄板、大鍋、かき氷、輪投げ、グラウ
ンドゴルフセット、ギャッジヘッド等

笠間市委託事業

- ・ 地域活動支援センター「ニコニコハウス」の運営
訓練日数：週 5 日 訓練生 13 人
訓練科目：生活・作業・行事訓練
- ・ 地域ケアシステム推進事業
在宅ケアシステム数（420 チーム）
日常生活自立支援事業の推進（利用者 28 人）
在宅介護者の会への支援
在宅介護者交流会、学習会の実施
- ・ 親子通園事業「つくしんぼ教室」「すずらん教室」
登録児数 30 人 開催回数 108 回
- ・ 家族介護教室 受講生 14 人
茨城県地域介護ヘルパー課程・救急救命等
- ・ 在宅福祉サービス
会員総会の開催・会員情報交換会
移送サービス運転者確認講習会
協力会員 179 人（笠間 58 人 友部 98 人
岩間 23 人）利用人数 延べ 7,132 人
- ・ いきいき交流活動通所事業
利用延べ人数 10,420 人 実施日数 624 日
主なサービス（健康チェック、趣味活動、レク
リエーション等）
- ・ 軽度生活援助事業
利用者延べ人数 586 人

笠間市指定管理業務

- ・ 地域福祉センター「友部社会福祉会館」の管理・運営
利用者 27,872 人 利用団体 1,048 団体
- ・ いこいの家「はなさか」管理・運営
開館日数 295 日 入館者数 67,733 人
送迎バス利用者 6,314 人
- ・ 福祉センター「いわま」管理・運営
一般開放日 50 日（毎週木曜日）利用者 228 人
- ・ 福祉作業所「たけのこ」（友部）運営
訓練日数：週 5 日 訓練生 21 人
訓練科目：生活・作業・行事訓練
- ・ 福祉作業所「あおぞら」（岩間）運営
訓練日数：週 5 日 訓練生 7 人
訓練科目：生活・作業・行事訓練

介護保険事業

- ・ 訪問介護事業（笠間・友部）延べ 14,908 回
- ・ 訪問入浴事業（友部・岩間）利用者 延べ 1,584 人
- ・ 通所介護事業（笠間・友部）利用者 延べ 9,354 人
- ・ 居宅介護事業（笠間・友部・岩間）利用者 延べ 4,073 人
- ・ 自立支援居宅事業（笠間・友部・岩間）利用者 延べ 386 人

なあと？

No.6

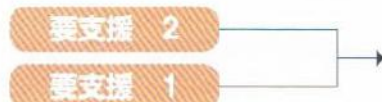
今回はシリーズの6回目です。前号から社協の介護保険事業を紹介し、「介護保険制度」についてもお伝えしておりますが、興味を持っていただけたでしょうか。

本号では、「よくわかる介護保険」の続編をお届けし、社協の介護保険事業を実際に利用している方の具体的なサービス内容と感想をご紹介します。

認定結果の通知

原則として申請から 30 日以内に、笠間市から認定結果通知書と結果が記載された保険証が届きます。

【要介護状態区分】



【利用できるサービス】

介護保険の介護サービス (介護給付)

日常生活で助を必要とする度合いの高い人で、生活の維持・改善を図るためのさまざまな介護サービスを利用できます。

介護保険の介護予防サービス (予防給付)

介護保険の対象者です。要介護状態が軽く、生活機能が改善する可能性が高い人などが受けるサービスです。

市が行う 介護予防事業

介護保険の対象になりませんが、市が行う生活機能評価を受け、生活機能の向上が必要と判定された人などが利用できます。

認定調査の結果と医師の意見書をもとに、保健、医療、福祉の専門家による「介護認定審査会」で審査され、介護を必要とする度合い（要介護度状態区分）が判定されます。

よくわかる介護保険（その②）

◆ケアプランを作成します

要介護1～5と認定された人は、在宅サービスと施設サービスのどちらかを選択し、在宅の場合は居宅介護支援事業者のケアマネージャーに依頼して利用するサービスを決め、介護サービス計画（ケアプラン）を作成してもらいます。

要支援1・2と認定された人は、地域包括支援センターで保健師等が中心となって介護予防サービス計画（介護予防ケアプラン）を作成します。

サービス内容が決まったら、事業者や施設と利用の契約をします。

◆サービスを利用します

サービス事業者に保険証を提示して、ケアプランにもとづいたサービスを利用します。ケアプランにもとづいたサービスの利用者は原則として費用の1割です。

◆有効期間が過ぎる前に

認定の有効期間は原則6ヵ月（更新認定の場合は12ヵ月）です。引き続きサービスを利用したい場合には、有効期間満了前に更新または変更の申請をしてください。

（皆塚・関・小松崎）



訪問入浴車

“社協”って

社協でのデイサービス



楽しい昼食タイム

訪問入浴を利用して

私の母（87歳）は、10年前に骨折、その後入院中に脳梗塞となり4ヵ月の入院生活を送り、現在要介護4の認定を受け自宅療養中です。以前、リハビリ付のデイサービスを何度か利用しましたが、本人の気が進まず、今は在宅にて訪問看護によるリハビリと訪問入浴を利用しています。

訪問入浴は看護師とヘルパーが来られ、血圧や脈拍などを測り、体調良好であれば、

部屋に浴槽などを選び入れ入浴・洗髪・着替えと手際良く入浴させてくださいます。皆さん明るい方ばかりで、母を気遣って優しく話しかけてくださいます。長い間、ベッドの生活でいますと、持病の他に肌がデリケートになってきていますから、この訪問入浴はとても助かります。

これから、時には季節感溢れるしよぶ湯やゆず湯など実現したら利用されている皆

利用者を訪ねて…

（要支援2のSさん85歳）

Sさんは、平成5年に脳梗塞を患い、懸命のリハビリにより自力で歩けるようになりました。平成12年に介護保険が導入され要介護1の認定を受け、週1回のデイサービスに通いはじめ、今は、週2回訪問介護も利用してとても助かっているそうです。

デイサービスでの様子をお聞きすると、「耳が不自由な私なので色々な方と話しをすることができず大変な面もありますが、大勢の方と接し、少しは刺激になって良いのかも知れませんが」と話され、隣りにいるご主人の方を見て「主人が頼りです。私より少しでも長く元気でありたいです」と手を合わされていたことが心に残りました。（R）

さんは喜ばれるのではないのでしょうか。

介護福祉がますます充実し安心して過ごせる社会になることを期待しています。

（M・K）

ちょっとい話

脳の活性化

本号では、脳を活性化する食品について紹介します。

- 豆類（大豆・黒豆・いんげん豆・枝豆など）
- ごま類（白・黒ごまなど）
- いも類（さつまいも・じゃがいも・ながいもなど）
- 野菜類（トマト・キャベツ・ブロッコリーなど）
- きのこ類（しいたけ・えのき・エリンギなど）
- 魚類（さんま・いわし・ぶりなど青背の魚）
- 海藻類（わかめ・こんぶ・ひじきなど）

これらの食品には、脳の活動を促進するブドウ糖・神経細胞を活性化し、記憶力を高めるレシチン・神経細胞を合成したり、血流をよくするビタミン類が含まれております。

さまざまな食品を組み合わせて、いろいろなメニューを考え調理することも脳機能アップにつながります。（小野）

だより



笠間市社協も、合併をしてから4年、毎年少しずつ地区社協が誕生しています。今年は、岩間地区で2つの地区社協ができました。高齢化が進んでいる現在、「向こう3軒両隣り」の輪が少しずつ広まろうとしています。

また、笠間支所ではボランティア養成講座を開催し、友部地区では女性部研修交流会が実施されました。

その概要をお知らせします。

笠間支所

傾聴 ボランティア 養成講座

6月3日、10日、17日の3回にわたり「傾聴ボランティア養成講座」が、笠間公民館において開催

され、23人が受講しました。

初日は、講師の安西先生から傾聴について、「この講座は、相手の話をまず受け入れてひたすら聴くことから始まります」とのお話があり、講座が始まりました。

安西先生から傾聴への出会い、心の通う聴き方のポイント、コミュニケーションの原理、経験談など、ユーモアを交えた講話がありました。その後、ロールプレイング



ロールプレイングの様子

(役割演技)と呼ばれる対人関係訓練を3人1組になり、「話し手」「聴き手」「観察者」になって事例に基づき対話を試みました。全員がほぼ初対面ということもあって緊張した面持ちでしたが時間が過ぎるにつれて緊張もほぐれ最後には和気あいあいとした雰囲気でした。

出席された方々からは、「耳を傾けて聴く必要性がわかってきた」などの感想が聞かれました。

このような講座を通して、ボランティアが増えることにより、困っている人に対して手を差し伸べられれば、明るい地域社会になることでしょう。

※傾聴ボランティアとは老人施設や在宅の高齢者を対象に、話し相手、話しの聴き役、市内ボランティア約35人が活動しています。

友部支所

北川根支部 女性部 研修交流会

晴天に恵まれた6月11日、千葉県佐原市に向かう車中「これからの支部活動の在り方、交流を深める事の大切さ、女性部員の拡充」等について話し合いました。その後水生植物園に到着

し、見事に咲き競う花菖蒲(およそ150万本)や、可憐に微笑みかけてくれた睡蓮を愛で、癒しのひと時を過ごしました。



水郷佐原水生植物園

小野川を挟んで立ち並ぶ古民家では、歴史をしのはせる商品が売られ、特に印象的だったのは伊能忠敬旧宅前に架かる桶橋の落水音を耳にする事が出来たことです。

この橋は、江戸時代から300年近く農業用水を送り続けた「大桶」の名残りで、溢れ落ちる水音から「ジャージャー橋」と名付けられたそうです。

平成8年に関東地方で初めて「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されたこの街全体から、私たちに残された自然や歴史あるものを大事にし、これからも守り続けようとする意気込みみたいなものを感じた研修でした。

隣接する「千葉県立中央博物館大利根分館」では、利根川の自然と歴史についても、学ぶことが出来ました。

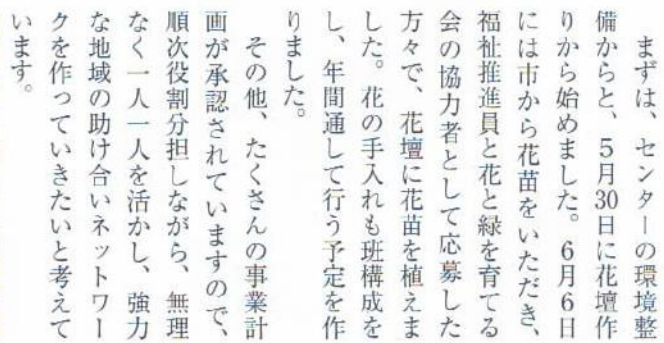
「佐原の街並み散策」は、自由行動で思い思いに「小江戸巡り」を楽しみました。

「またきつと訪れてみたい」と参加者は感想を述べており、「古きを訪ねて、新しきを知る」意味でも、大変有意義な研修だったと思います。(皆家)

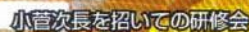
支所

吉岡二区地区
社協活動

5月16日の役員会で、岩間支所長から市協会の取組、地区社協の育成・自主的な活動を確認しました。



●収入 57,500 円	
・並開市社会福祉協議会還元金	37,500 円
・下安地区自治会補助金	20,000 円
●支出 57,500 円	
・運営費 7,000 円	
・会議費(総会 役員会)7,000 円	
・活動費 48,000 円	
・小学校入学祝い	3,000 円
・研修費	21,000 円
・情報交換会費	15,000 円
・買い物支援	6,000 円
・子育て支援	3,000 円
・予備費 2,500 円	



地区社協発足

4月22日下安居地区78戸の
全家庭を会員とした下安居地
区社会福祉協議会が発足した。



善意の寄附を「ありがとう!!!」(善意銀行預託)

平成21年10月1日～平成21年12月31日まで(順不同・敬称略)

物 品

社団法人笠間観光協会	使用済み切手
株式会社アイフ技研笠間営業所	使用済み切手
花屋敷	使用済み切手
小池工務店	使用済み切手
関東セキスイハイム工業株式会社	使用済み切手 多数
茨城中央農業協同組合笠間支店	使用済み切手 多数
菅谷 正道	使用済み切手 1,750枚
泰栄電器	使用済み切手、タオル
佐谷 正恵	使用済み切手、エコキャップ
サンエツ工業株式会社	使用済み切手、ブルタブ多数
梅崎とく子	使用済み切手、ブルタブ、エコキャップ
笠間第一幼稚園	使用済み切手、テレホンカード58枚
笠間市立穴戸小学校	ブルタブ多数
ガールスカウト茨城県支部第5団	ブルタブ 45Kg
穴戸苑関係者・ご家族一同	ブルタブ多数
大久保義子	ペットボトルキャップ
佐藤 彩夏	ペットボトルキャップ1,000個
橋本精密工業株式会社	ペットボトルキャップ多数
イチカワユニオン	ペットボトルキャップ 16,580個
不二製油株式会社東工場	ペットボトルキャップ
川又 さわ	冬瓜多数
生駒 裕子	冬瓜多数
榎村ふみ江	タオル5枚、雑巾10枚
笠間地区 更生保護女性会笠間支部	タオル123本 シーツほか多数
鈴木商店	タオル120本
菅谷 幸子	雑巾100枚
高齢者クラブ原宿会	雑巾100枚
谷 芳美	毛布
故 村上 美江子	未使用テレホンカード14枚
笠間郵便局	未使用お年玉付郵便葉書200枚
笠間一中第10回卒業同窓会	図書券 (500円×5枚)
原下 和子	反物2反
南指原 隆	米 30Kg
嶋 のぶ	紙おむつ
矢須百合子	紙おむつ多数
岡野 博之	ゆず2箱
坪来 征子	ポケットティッシュ、ブルタブ
ひたちのログハウス	洗濯機、冷蔵庫、電子レンジほか
桃フードサプライヤスコ	クリスマス菓子詰め合わせ 104個
山田 晃	デンゲン菜・食用菊
森 尚子	白菜・いも類・寒もち他多数
久保田満子	大根多数

シャワーチェア
タオル
使用済み切手500枚
使用済み切手
使用済み切手、ブルタブ
ガラスコップ70個
洗剤1ケース
洗剤4本、衣類
お茶類多数
米30Kg
紙おむつ 2箱
大根150本

金 銭

日本ボールルームダンス連盟 茨城県支部	30,000円
特定非営利活動法人 日本入歯リサイクル協会	4,566円
常井 鞠代	2,020円
笠間市体育協会 スポーツダンス部	10,000円
笠間建設組合	20,100円
オール茨城アームレスリング連盟	10,000円
笠間市ゲートボール連合会	14,331円
笠間市立笠間図書館(リユース寄付金)	41,820円
水戸ヤクルト販売所	200,000円
笠間市日中友好協会	10,000円
深谷 春義	30,000円
宮本 正	200,000円
笠間市商工会女性部 笠間市青色申告会女性部	35,071円
スナック オクスター	50,000円
吉田 行雄	1,000円
笠間市ボランティア連絡協議会友部支部	30,000円
茨城中央農業協同組合 花き部会	20,000円
磯野 辰也	3,000円
宮本 伸子	10,000円
友部読書会連合会	70,000円
梅崎とく子	1,265円
藤井 都	1,250円
笠間市高古連 笠間支部 女性委員会	30,000円
おおはた美容室	16,552円
匿名 (5件)	85,040円

広報委員をご紹介します。

◎委員長
○副委員長

岩間	友部	笠間	地区
高瀬 善啓	皆塚 和昭	生天目 義一	入江 勇太
○久保田 満子	小野 武	横堀 洋一	氏 名
小松崎 美恵子		関 令子	

任期：平成22年4月1日～平成24年3月31日

編集後記
社協だよりNo.12をお届けいたします。お暑い中ですが皆様お変わりございませんか。今号は事業報告と決算報告をさせていただきます。たくさんの方の事業をしている事がわかっていただけたと思います。私達の身近な所に社協があり、安心してくらすためのいしづえになってくれればと思います。(久保田)

平成22年度 心配ごと相談所開設日程表

日常のお困りごとなどご相談ください(無料・秘密保持)

時 間：13:00～16:00

	笠間支所(毎週火曜日)	友部支所(毎週水曜日)	岩間支所(毎週木曜日)
	社協笠間支所	友部社会福祉会館	岩間保健センター
8月	3日・10日・17日・24日・31日	4日・11日・18日・25日	5日・12日・19日・26日
9月	7日・14日・21日・28日	1日・8日・22日・29日	2日・9日・16日・30日
10月	5日・12日・19日・26日	6日・13日・20日・27日	7日・14日・21日・28日
11月	2日・9日・16日・30日	10日・24日	4日・11日・18日・25日
12月	7日・14日・21日・28日	1日・8日・15日・22日	2日・9日・16日

※なお、平成23年1月～3月の予定は次号でお知らせします。

	笠間支所	友部支所	岩間支所
法律相談	第3金曜日 10:00～12:00	第1金曜日 10:00～12:00	第2金曜日 10:00～12:00

※予約が必要になります。お問い合わせください。

お問い合わせ先

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会

友部支所 0296-77-0730
笠間支所 0296-73-0084
岩間支所 0299-45-7889